

**製品名: FPR1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11123**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,ELISA                                |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000 |
| 分子量  | 40kDa  |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | FPR1   |
| 別名           | FPR1; fMet-Leu-Phe receptor; fMLP receptor; N-formyl peptide receptor; FPR; N-formylpeptide chemoattractant receptor |
| 遺伝子 ID       | 2357.0   |
| SwissProt ID | P21462   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト FPR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 155-204   |

**背景**

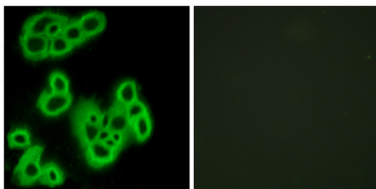
ホルミルペプチド受容体 1 (FPR1) ホモサピエンス この遺伝子は、G タンパク質共役受容体 1 ファミリーのメンバーである哺乳類食

細胞の G タンパク質共役受容体をコードしています。このタンパク質は、微生物による宿主侵入に対する食細胞の応答を媒介し、宿主防御および炎症において重要です。[RefSeq 提供、2010 年 7 月],機能: 強力な好中球走化性因子である N-ホルミルメチオニルペプチドに対する高親和性受容体。FMLP が受容体に結合すると、好中球が活性化されます。この反応は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質を介して媒介されます。、PTM: リン酸化;脱感作に必要なものである。、類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、組織特異性:好中球。、

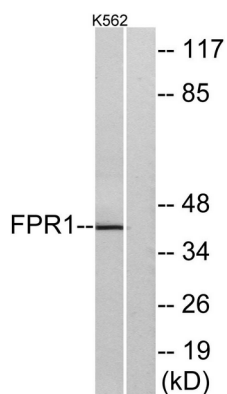
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

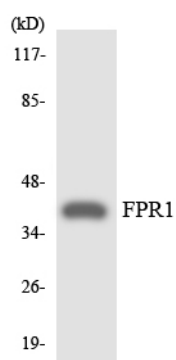
## 画像データ



FPR1 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



FPR1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



FPR1 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。